

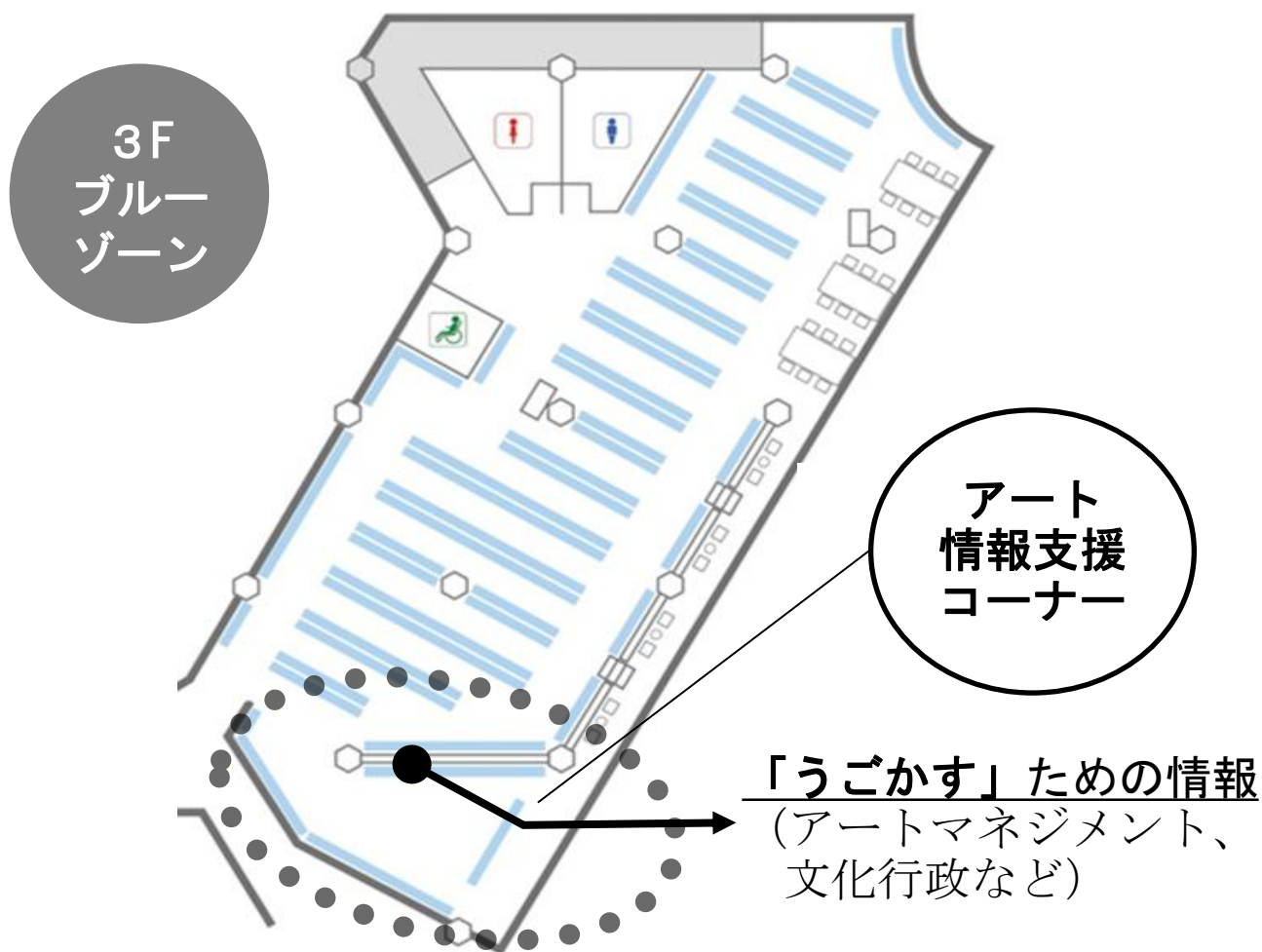
アートに関する 行政支援情報を調べる

2015年 3月 作成
2024年 6月 更新

■本で調べる

当館では、文化・芸術政策に関する本を3階アート情報支援コーナーの「うごかす」に所蔵しています。

請求記号：709など



アート情報支援コーナーとは？

テーマごとにアートの鑑賞、創作、教育、運営、記録に関するさまざまな情報を提供します。



『みんなの文化政策講義 文化的コモンズをつくるために』 (藤野一夫・著 / 水曜社 / 2022)

自由な個人の創造活動と、行政が策定する文化管理政策は共存できるのでしょうか？「文化」と「政策」の関係を捉え直し、自由参加可能な文化拠点である「文化的コモンズ」醸成の方法を探る入門書です。

場所 3階アート情報支援コーナー 請求記号：A709.1/7ジ

■千代田区の文化・芸術支援情報

千代田区では、令和3年に「第四次千代田区文化芸術プラン」を策定し、「保存し伝える」「創る」「育てる」の3つの視点から施策を展開しています。

当館(日比谷図書文化館)を含む4つの区内施設が、このプランを推進するための文化芸術拠点として位置付けられています。ここでは、当館以外の2施設を紹介します。

●内幸町ホール

内幸町ホールは、定員188人の多目的劇場です。

寄席やシャンソンコンサートを積極的に実施するほか、区民の文化芸術活動の場としても活用されています。特に、文化芸術活動を行う団体が成果を発表する内幸町ホール文化祭は、区民等による活動を支援し活性化する事業になっています。

●九段生涯学習館

生涯学習の振興を図るため、区民のサークル等が行う学習・研究に対して場を提供しています。文化・芸術の観点では、絵画・写真の展覧会の開催や参加者同士の交流、区民による創造・発信の拠点となっています。

■アーティスト・イン・レジデンス

行政によるアーティスト支援施策のひとつとして、アーティスト・イン・レジデンスがあります。

アーティスト・イン・レジデンスとは…

一定期間、ある土地に芸術活動を行う個人又は団体を招へいし、その期間の活動を支援する事業のことです。

芸術家たちは、滞在期間中、作品又は制作過程を公開したり、地域の人々と交流しながら共同で作品を制作するなど、様々なケースがあります。



AIR_J（エアージェイ）

日本全国各地で展開しているアーティスト・イン・レジデンスに関する情報を提供しているウェブサイトです。

条件にあわせて検索することもできます。

■文化・芸術に関する行政を担う省庁



文化庁

芸術家個人、団体に対し、普及活動、アートマネジメント、人材育成等、幅広い活動支援が行われています。

アーティスト・イン・レジデンス支援も行っています。



経済産業省

日本のコンテンツを海外に発信するための、コンテンツ産業振興を行っています。

ローカライズ&プロモーションへの助成金の支援も行っています。

■ 助成団体を調べる



ネットTAM（ネットタム）

－アートマネジメント総合情報サイト－

芸術・文化助成金情報を総合的に閲覧できるサイトです。



国際交流基金（ジャパンファウンデーション）

公募プログラムがあり、個人や団体に対して助成金、研究奨学金などを提供し、活動を支援しています。



日本芸術文化振興会 芸術文化振興基金

個人や団体の芸術活動に対する援助を、継続的・安定的に行うことを目的としています。



アーツカウンシル東京

（公益財団法人 東京都歴史文化財団）

都立施設の運営を行うとともに、文化活動への助成など、幅広い事業を展開しています。

ART NEWS TOKYO（アートニューストーキョー）

東京都歴史文化財団が年3回発行している広報誌です。
2024年5月現在、紙媒体は休刊中ですが、Webページは更新されています。各施設の展示や公演情報、関わりのあるゲストへのインタビューなどがご覧になれます。
支援情報を探す手がかりとして、ぜひご活用ください。